

# No. 1298

## 新海洋秩序に備えて

海上保安庁が200海里時代に備えて建造を急いでいた大型巡視船がこのほど完成、その引渡し式が横浜の造船所で行われました。式典には海上保安庁と造船所の関係者約80人が出席、双方で文書が取りかわされ正式に巡視船の誕生となりました。船名がすでに「そうや」と命名されたこの船は過去6回にわたり南極の氷と戦い、10月に引退した「宗谷」の云わば2世。この船の最大の特徴はヘリコプターとう載船であり砕氷能力を備えていることです。また造水装置をはじめロラン、オメガ等の航海機器が数多く装備されまさに最新鋭の巡視船です。「そうや」は12月8日から寒風吹きすさぶ北の海の守りに就くことになっています。

## テンメイに栄冠

第78回天皇賞

第78回天皇賞は11月26日曇り空の東京競馬場に約11万のファンを集めて行われました。距離3,200メートル、東西の優駿11頭が覇を競います。スタートから予想通り、ダンケンジが快調にとばします。正面スタンド前でダンケンジをとらえたプレストウコウはそのままトップを快走、最後の直線に向います。結局テンメイがすばらしい追い込みを見せ、粘るプレストウコウを抑えて優勝。清水英次騎手は昭和46年秋のトウメイ以来7年ぶりの優勝、トウメイ、テンメイの母子二代の栄冠は史上初の快挙でした。

## 大平新体制へ

— 自民党総裁選 —

わが国の政党史上初めての全黨員・党友が参加した自民党総裁選挙の予備選挙は11月27日行なわれた。予備選挙は総裁候補を2人にしぼるため、去る1日告示され福田首相、中曽根総務会長、河本通産相、大平幹事長の4氏で争っていたが、各都道府県で始まった開票の結果、全国的にむらなく票を伸ばした大平氏が、終始福田氏をリード、結局獲得特ち点で110点の大差をつけ、予備選挙の1位となった。思わぬ大敗に官邸では福田首相をとり囲み激論がかわされたが、ついに福田首相は本選挙不出馬を表明した。この結果、12月1日の第35回臨時党大会では大平氏が拍手による承認で新総裁に選ばれることになり、大平政権誕生の運びとなった。挙党一致をかかげる大平氏はさっそく福田首相を訪ね、協力を要請、これに対し首相も全面的な協力を約束した。3年前ロッキード疑獄の三木下ろしの中で生まれた福田政権はわずか2年で思わぬ終わりを告げた。